

信州木曾看護専門学校自己評価に対する外部評価委員の意見

1 全体

- ・ 過疎地域であり、生活には決して便利な地域とは言えないが、地元に対する要望があれば行政、関係団体に伝えてほしい。(2件)
- ・ コロナ禍でも工夫して授業等が行われている様子がうかがえる。
- ・ 職員アンケートの3年度との比較では特に注意しなければならないものはないと感じたが、評価されたことが来年度につながることを期待する。
- ・ 学生アンケートの実習施設との連携が令和4年度やや低下している。臨床において重要な項目なので、より力を注いでほしい。
→4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実習変更があり、そのことも影響したと考えている。ご指摘のとおり重要な項目であるので、学校としても十分配慮してゆきたい。
- ・ 教育環境以外は3点以上ということは、評価できるが、天井評価となっていないか。自由記載などあれば知りたい。
→自由記載欄を設ける等、アンケートの取り方にも工夫してゆきたい。
- ・ 看護師国家試験の合格率が高いのは、学生、教職員の目的意識の高さと思う。

2 項目別

(1) 大項目II 学校運営

・学生アンケートで、学校全体で一貫性のある指導が、毎年、低評価である。

自己点検評価にも記載されているが、教職員間等の連絡調整を図り改善に努めてほしい。

→2週に1度の教員会議、月に1度の教職員連絡会で情報共有、意見交換を十分行い、指導の充実を図ってまいります。

・教員の確保については、機構内の看護職全体でローテーションを組むなど、セカンドキャリアとして若いナースたちにも協力してもらったらどうか。

→引き続き機構内で相談して参りたい。

(2) 大項目IV 学習成果

・卒業生アンケート調査については、オープンサーバー等の利用にあたり、セキュリティーに配慮した回答率向上に一層の取組を希望する。(紙の方がいい場合もある。)

→回答率の向上に努め、学校運営に反映させていきます。

(3) 大項目V 学生支援

・中退者率は一定数あっても仕方ないと思う。無理に看護師にしても、後々、本人のためにならない。

→学生との対話により学生の就職意欲、適正に寄り添った柔軟な支援をしていきたい。

・「学生支援」として面接練習を行っているが、「面接」「自己PR」において自分の言葉で、その場の流れで答えられるようアドバイスしてほしい。「笑顔」等の所作も含めて指導してほしい。

(4) 大項目VI教育環境

・毎年評価が低い状況にある。財政的理由もあろうかと思うが、寒さ対策、カビの臭い等については早急に対応が必要。

→建物の構造上、抜本的対策は厳しいものがあるが、学びの場については、暖が取れるよう配慮してゆきたい。カビの臭いについては、天気の良いときに換気を行うとともに、除湿器を活用してゆきたい。

(5) 大項目VII学生の受け入れ募集

・生徒募集の周知広報等協力できることがあれば行政にも相談してほしい。

→ありがたいご提言感謝します。行政と連絡を密にして受け入れ態勢を整備してまいりたい。

・中・高校訪問に期待するとともに、県立病院機構の奨学金をもっと推奨してほしい。

→機構奨学金は、進路決定の動機付けになりうるので積極的に推奨してゆ

きたい。

・Instagramを始めたということだが、信州木曾看護専門学校への入学を検討している方に有用。PRの面でぜひ活用してほしい。

→ご指摘のとおり、若い方に有効なPR方法と思われるので、順次投稿を増やしていきたい。

(6) 大項Ⅷ財務

・エコマネジメント長野の指標である、燃料、紙、可燃ごみ、水道について、対前年比の増減とその理由を明確にし、掲示等によるデータの見える化により、教職員、学生間の節約意識の共有が一層されるよう希望する。

→資源消費の見える化から取り組んでいきたい。

(7) 大項Ⅹ社会貢献。地域貢献

・「雪灯りの散歩道」等、地元木曾郡内で開催されているイベント等にボランティア参加して地域の人たちと交流ができれば、学生にも良いと思う。

→日頃から地域の皆さんに大切にしている。学生生活での思い出にもなるので、イベント等への参加は引き続き続けていきたい。

・地元の味覚、自然等木曾ならではの実習を引き続き希望する。

→本校のセールスポイントでもあるので、引き続き取り組んでいきたい。

3 学生への提言

- ・医療現場では体が資本。今から体力を付けること。健康とスポーツ、食事の重要性を学んで実践してほしい。